

堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター 令和4年度事業報告

(1) 自立訓練事業

① 自立訓練事業利用者の状況

		令和4年度			令和3年度		
		機能訓練	生活訓練	合計	機能訓練	生活訓練	合計
利用契約者数		42	49	91	30	56	86
うち	新規利用	20	20	40	9	14	23
	退所	17	21	38	8	27	35
延利用回数		2,191	2,638	4,829	1,568	2,946	4,514

② 新規利用者の契約に至ったきっかけ

	令和4年度			令和3年度		
	機能訓練	生活訓練	合計	機能訓練	生活訓練	合計
医療機関から紹介	11	12	23	2	11	13
他の事業所から紹介	5	2	7	0	0	0
市・相談機関から紹介	0	1	1	6	1	7
本人・家族から相談	4	5	9	1	2	3
その他	0	0	0	0	0	0
合計	20	20	40	9	14	23

③ 退所者の動向

		他の事業所を利用	就職(復職)/就学	入院	入所	在宅	その他	合計
令和4年度	機能訓練	8	5	1	0	1	2	17
	生活訓練	11	7	1	0	2	0	21
	合計	19	12	2	0	3	2	38
令和3年度	機能訓練	3	1	0	0	4	0	8
	生活訓練	5	14	0	0	8	0	27
	合計	8	15	0	0	12	0	35

令和4年度退所者動向

(ア) 「他の事業所利用」内訳

機能訓練 8 (就労継続 B 型事業所 4、介護保険通所事業所 2、共生型サービス事業所 1、能力開発校 1)

生活訓練 11（就労移行支援事業所 2、就労継続 A 型事業所 2、就労継続 B 型事業所 2、介護保険通所事業所 4、能力開発校 1）

（イ）「就職(復職)/就学」内訳

機能訓練 5（新規就労 1、復職 1、就労継続 2、高校復学 1）

生活訓練 7（新規就労 2、復職 5）

④利用当事者・家族支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家族懇談会	5	8	5	5	6	4	3	1	5	-	4	0	46
学習懇談会 (OB 交流会)	-	-	28	-	-	-	-	32	-	30	-	19	109

（2）支援普及事業

① 相談支援の状況

	令和4年度	令和3年度	相談者内訳	令和4年度	令和3年度
新規実人数	196	131	本人	614	450
継続実人数	794	650	家族	692	449
実人数合計	990	781	行政関係	319	292
延相談件数	3,300	2,612	医療関係	514	540
			福祉関係	866	580
			教育関係	17	26
			就労関係	221	225
			その他	57	50
			合計	3,300	2,612

② 研修会・勉強会開催の状況

高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 支援普及研修会		
開催日	開催内容	参加者数
6月15日	第1回 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 「高次脳機能障害のある方の福祉的就労～取り組みから学ぶ連携と実践～」	70
8月28日	第2回 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 「画像診断から見る高次脳機能障害の支援」	146
11月11日 ～ 11月17日	第3回 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 You Tube 限定配信「高次脳機能障害者の社会復帰・社会参加の実際 ～当事者と家族の声を集めて～」	258

2月15日	第4回 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 「脳卒中後のイライラ、こだわりはなぜ起こる？ ～その原因と明日から使える対応方法～」	72
出張勉強会		
開催日	開催内容	参加者数
6月17日	S・Bケアサポート出張勉強会 第1回 「生活リハビリテーションセンターの役割」「高次脳機能障害とは」	12
7月15日	東区介護支援専門員資質向上研修（出張勉強会） 「高次脳機能障害の方の社会参加をめざして ー 2号被保険者の支援で悩んだ経験はありませんか ー」	77
8月12日	リードケア出張勉強会 第1回 「生活リハビリテーションセンターの役割」「高次脳機能障害とは」	13
8月19日	S・Bケアサポート出張勉強会 第2回 「脳卒中後の2号被保険者の支援～社会参加に向けた支援のポイント」	7
9月16日	S・Bケアサポート出張勉強会 第3回 「福祉用具の活用」	12
10月21日	S・Bケアサポート出張勉強会 第4回 「障害福祉サービスと社会保障制度について」	10
11月18日	S・Bケアサポート出張勉強会 第5回 「事例検討会」	9
11月25日	リードケア出張勉強会 第2回 「事例検討 ～適切な対応と支援者が知っておきたい事～」	13
2月2日	エルチャレンジ出張勉強会 「高次脳機能障害の理解と対応方法」	20

研修会・勉強会述べ参加者数 719人

③ 視察・研修の受入れ（他機関からの依頼対応）

視察・見学		
開催日	開催内容	参加者数
4月21日	花王カスタマーマーケティング株式会社視察（復職支援について）	5
5月12日	デイサービス「リハビリGo」（泉大津市）施設見学	1
6月28日	なやクリニック 作業療法士プログラム見学	1
8月1日	堺市中堅教諭等資質向上研修プログラム 「子どもの高次脳機能障害、リハビリ体験等」	8
8月4日	堺市中堅教諭等資質向上研修プログラム 「子どもの高次脳機能障害、リハビリ体験等」	7
8月14日	相談支援セター ていっく 施設見学	1
9月27日	関西医療大学看護学部施設見学（麦の会での実習の一環として）	2

9月28日	関西医療大学看護学部施設見学（麦の会での実習の一環として）	3
11月8日	関西医療大学看護学部施設見学（麦の会での実習の一環として）	2
11月9日	関西医療大学看護学部施設見学（麦の会での実習の一環として）	4
11月29日	関西医療大学看護学部施設見学（麦の会での実習の一環として）	2
11月30日	関西医療大学看護学部施設見学（麦の会での実習の一環として）	3
12月22日	関西医療大学看護学部施設見学（麦の会での実習の一環として）	3
1月18日	関西医療大学看護学部施設見学（麦の会での実習の一環として）	3
1月28日	令和4年度和歌山県高次脳機能障害研修会 「明日から使える！ 脳卒中後の認知機能の低下とその対応方法」	38
技術指導等		
開催日	開催内容	参加者数
4月20日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	3
5月10日	理学療法士による技術指導 「堺市立新檜尾台小学校」	1
5月18日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	3
6月8日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	3
7月13日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	3
8月4日	堺市難病患者支援センター主催研修会 「介助方法」技術指導	2
8月10日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	2
9月14日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	2
10月12日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	3
10月25日 ～27日	作業療法士による仙台市研修会講師・実地指導 「高次脳機能障害支援者向けステップアップ研修」	28
10月31日	東大阪市社会福祉事業団（サポートスペースここりーど） 自立訓練担当職員実地研修	2

11月9日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	2
1月11日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	2
2月8日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	3
3月8日	理学療法士による技術指導 生活介護事業所「ヘッドウェイさかい」	3

視察・研修受入れ述べ人数 145人

④ 自動車運転技能評価の実施状況

<堺市>実施者数 11名 (データについては大阪府事業と統合)

⑤ ネットワーク構築 (各区自立支援協議会等への参加状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市・各区自立支援協議会	2	7	4	2	1	3	4	4	3	4	3	4	41
府コーディネーター会議	2	2	1	1	0	2	1	1	2	2	1	3	18
医療機関との会議等	3	0	0	1	2	3	1	0	2	1	3	0	16
事業所との会議等	8	4	3	5	3	4	1	4	2	1	4	7	46
その他	4	1	4	3	2	3	3	2	4	2	2	2	32
合計	19	14	12	12	8	15	10	11	13	10	13	16	153

(3) 目標設定

指標	目標	結果
① 自立訓練事業延べ利用回数 (稼働率)	6,550回(90%)	4,829回 (66.2%)
② 自立訓練事業利用者満足度(退所者・家族)	85%以上	91.1% (41/45)
③ 高次脳機能障害者等への相談支援延件数	2,400件	3,300件
④ 研修会・勉強会の参加者数	600人	719人

(4) 総括

自立訓練事業

- 「朝の会」「終わりの会」を再開し、利用者同士のコミュニケーションが大幅に増加。
- 通所訓練においてテレビ会議システムを用いた訓練プログラムの提供を継続した。
- 身体障害のある方々に対しての個別の理学療法、作業療法、言語療法に加え、スポーツセンターの施設を利用したグループ訓練も制約なく提供した。
- 機能訓練では、新規利用者が大幅に増加した。特に医療機関からの紹介が増えた。

- 生活訓練でも、新規利用者大幅に増加した。身体障害を伴わない高次脳機能障害のある方の退院後の社会資源としての生活訓練の必要性が伺われた。
- 広報さかい8月号に高次脳機能障害及びセンター特集記事を掲載した。
- サービス利用開始にあたって医療機関での引継ぎのための支援者会議開催も年度後半から従来通り実施されるようになった。
- 訓練終了後の進路の内訳について、特に通所サービスなどを利用しない「在宅」が前年度から大幅に減少した。

家族支援

- 家族懇談会は1年間を通して対面での開催ができたことで家族同士の情報交換など孤立しがちな家族の支援にあたることができた。

高次脳機能障害支援普及事業

- 相談支援においては、広報さかいへの特集記事や医療機関向けポスター配布など広報活動によって、前年度に比べ実相談人数・延べ相談件数ともに増加した。
- 支援普及研修会については、対面とオンラインとのハイブリッドにて関係団体、支援機関向け研修会を計3回開催した。特に初めて日曜日午前中に医療機関関係者向けの研修会を開催したところ146名と多くの参加があった。
- 当事者・ご家族・市民向け研修会は、新たな試みとして当事者や家族へのインタビューを編集した動画を作成し、限定配信を行い、再配信を希望する意見や職場内研修に使用したいとの意見があるなど高い評価をいただくことができた。
- 出張型勉強会については、4事業所及び機関から依頼を受け合計9回開催し、延べ173名の参加をいただいた。
- センター主催の研修会・勉強会以外に引き続き大阪府支援拠点機関と共同して事務局作業を担当している損保協会助成金事業の高次脳機能障害リハビリテーション講習会の動画配信にも取り組んだ。

まとめ

今年度も施設内での感染拡大事案はなかったが、第8波といわれる令和4年10月以降の感染拡大時期においては、利用者や利用者家族の家庭内感染が複数発生し欠席する利用者が一定数生じたことに加え、複数職員が家庭内感染によって出勤できない状況が発生するなど利用者対応に苦慮する期間が生じた。この間、日々の情報共有による職務の代替性をもって対応することはできたものの職員数の限られた事業所としての課題の解決には至らなかった。事業所としてのBCP策定や研修を実施しているが、常にマニュアル通りにいかない不測の事態への職員一人ひとりの対応力を高めていきたい。